



学校だより (23)

事務所 947-3111 ・ 授業日 291-1591

◇<http://www.hjschl.org>

◇e-mail info@hjschl.org

集団の力と良さを生かしたい

校長 福原 輝幸

1人が1の力を持っている15人で、1つのグループを作り、ある取り組みをしましょう。

その時、そのグループ全体の力は、単純に15人いるからと言って $1 \times 15 = 15$ の力にはなりません。15を越えたものになるか、15に達しないか、必ずどちらかになります。

時には、その力は20にも、25にも、はたまた50にもなることがありますし、反対に10とか5であったり、時には1のままであったり、さらには1以下になってしまう場合だってあります。

それがグループを組んで取り組む場合の、つまり「組織（そしき）」が持っている性格（せいかく）です。

15以上にするには、1人1人が生かされているグループに、1人1人が光輝（ひかりかがや）いているグループに、1人1人の持っている個性（こせい）を大きく引き出しているグループに、そんなグループにしなければなりません。

大きな力を生み出すために、それが協力・連携・支えであり、時には自分を抑えることも必要となります。

このことは、レインボー学園全体にも、学年にも、学級にも、また教職員集団にもすべて当てはまります。

さらに家族、夫婦、兄弟姉妹にも同様に当てはまるのです。

ぼくが ここに

まど・みちお

ぼくが ここに いるとき
ほかの どんなものも
ぼくに かさなって
ここに いることは できない

もしも ゾウが ここに いるならば
そのゾウだけ
マメが いるならば
その一つぶの マメだけしか
ここに いることは できない

ああ このちきゅうの うえでは
こんなに だいに
まもられているのだ
どんなものが どんなところに
いるときにも

その「いること」こそが
なににも まして
すばらしいこと として

10月3日は中秋の名月でした

古くから日本では、秋の澄んだ空に昇る満月を鑑賞する風習がありました。

秋は収穫の時期であり、その年の収穫物を月に供える風習が残っており「芋名月」の呼び名もここから生まれました。

現在は「月見団子」を供えますが、芋の変形だと言われています。

今年は10月3日でしたが、本来は旧暦の8月15日の月を中秋（なかあき）の名月と呼んでいたのです。